

富士川中流域 アユを育む・清流プロジェクト

第四回検討会（書面開催）

資料－ 1 令和 6 年度の活動報告

令和 7 年 3 月 2 7 日

富士川における調査・対策

(国土交通省)

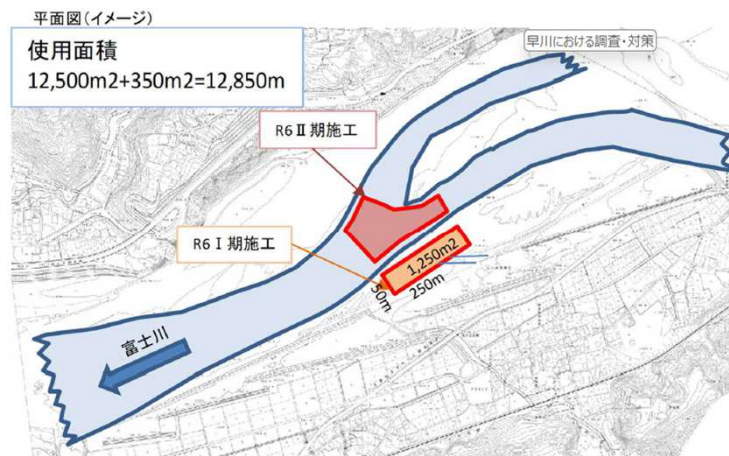
- <流量調査> 経年的に大きな変動は見られない。
- <水質BOD調査> 概ね水産用水基準以下で推移している。
- <水質DO調査> アユにとって望ましいとされる値を満足している。
- <水質SS調査> 平成23年以降は自然濁水の長期化によるアユへの影響が課題。
- <水質pH調査> アユにとって望ましいとされるpH（7.5以下）の範囲を超えている。
- <水温調査> 経年的に概ねアユの適温範囲内であるが、釜無川、笛吹川の夏季の水温がやや高い傾向。

<河川水辺の国勢調査（魚類調査及び環境DNA調査）>

- ・河口部から釜無川の信玄橋、笛吹川の鵜飼橋までアユのDNAが確認された。

<モニタリング 報告及び対策報告>

- ・大石の配置による緩流環境の創出によりアユの食み跡が多数確認



R6年度の大石配置（投石）



アユの食み跡

< 掃流砂・巨礫露出高調査 >

【St.1__富士川合流点】



掃流砂の舞い上がりが少なく、河床に露出高の大きな大型の石礫が優占し、アユの餌料となる藻類の生育環境及びアユの摂餌環境は相対的に良好と評価される。

【St.2__身延橋下流】



掃流砂の舞い上がりが比較的少なく、アユの餌料となる藻類の生育環境は比較的良好と評価されるものの、河床に露出高の大きな大型の石礫が比較的少なく、アユの摂餌環境は比較的良くないと評価される。

【St.3__下田原地先】

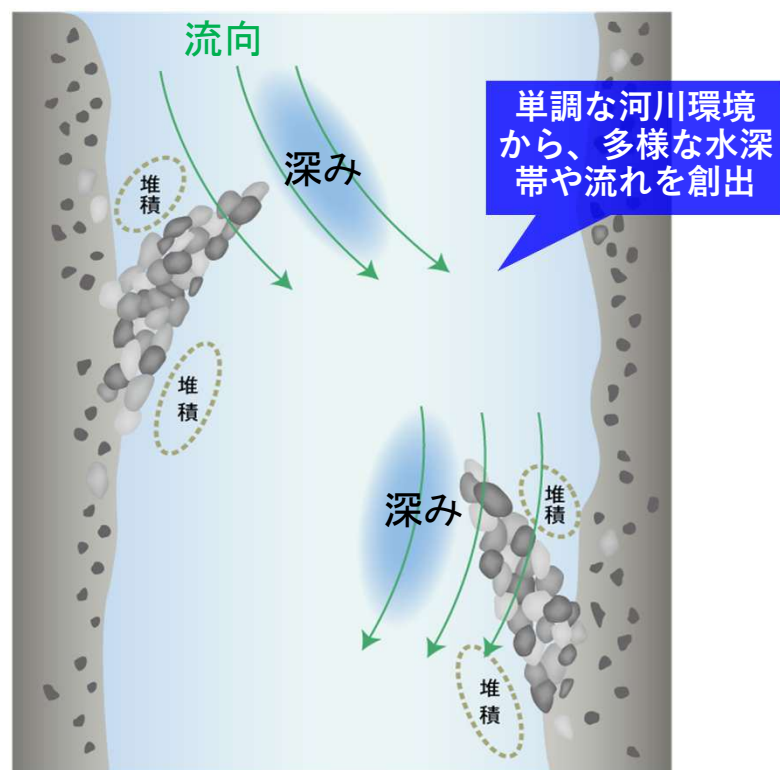


河床には露出高の比較的大きな大型の石礫が優占し、アユの摂餌環境は比較的良好と評価されるものの、掃流砂の舞い上がりが多く、アユの餌料となる藻類の生育環境は良くないと評価される。

早川における調査・対策

(山梨県)

- <アユ生息実態調査> 早川橋上流までアユが遡上している事を確認したが、アユのDNAがほとんど検出されていないことから、定着できていない可能性が高い。
- <アユの餌環境調査> 餌資源である付着藻類は確認できたが、量及び質が一般河川と比較して少ない。
- <対策報告> 「浚渫で発生した巨石」を活用したバープエ※の施工や巨石を配置した結果、多様な流れの創出が確認され、稚魚等の生息が多数確認された。



※バープエとは・・・河岸から上流側に突き出した水制工のような構造物。

早川・福士川における新たな調査

(山梨県)

< 掃流砂・巨礫露出高調査 >

○掃流砂調査

- ・ 早川 3 箇所（早川橋上流、弁天橋付近、春木川合流部）
出水が長期間生じない条件下では、全てにおいて、掃流砂の舞い上がりが少なく、
アユが定着する良好な状況であった。
- ・ 福士川 1 箇所（上福士川橋下流）
掃流砂の舞い上がりが少なく、アユが定着する良好な状況であった。

○巨礫露出高調査

- ・ 早川 3 箇所（早川橋上流、弁天橋付近、春木川合流部）
全てにおいて、河床における露出高の大きな巨礫は比較的少なく、アユの摂餌環境
は比較的良くないと評価される。
- ・ 福士川 1 箇所（上福士川橋下流）
早川に比べ露出高の大きな巨礫が多く、アユの摂餌環境は比較的良好と評価される。

河川美化活動等について

(早川町、身延町、南部町)

・河川美化活動（早川町）

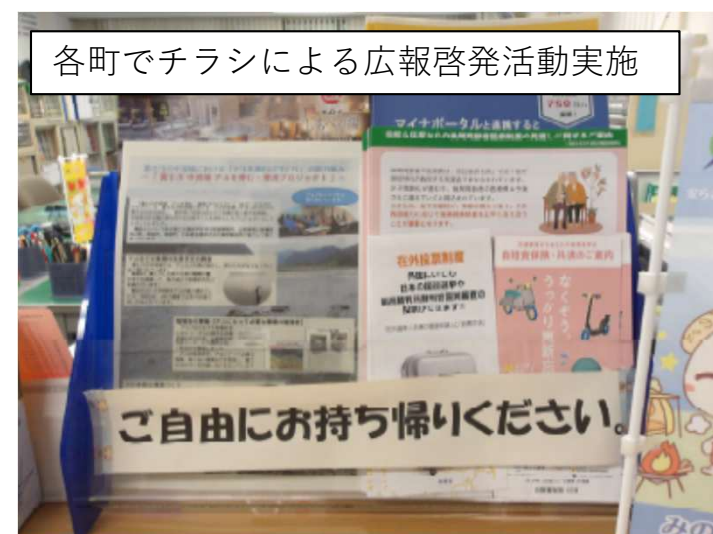
- ・ R6.4月下旬 空き缶拾い
- ・ R6.7月中旬 除草
- ・ R6.10月上・中旬 ゴミ拾い、草刈り
- ・ PRチラシの配布

・河川美化活動（身延町）

- ・ R6.6月 町内各地美化活動
- ・ R6.11月下旬 富士川クリーン活動（雨天中止）
- ・ 自然環境監視員による不法投棄の監視
- ・ PRチラシの配布

・河川美化活動（南部町）

- ・ R6.5月 釣り大会（漁協との連携事業）
- ・ R6.7月 環境美化活動（草刈、不法投棄報告）
- ・ R6.7～8月 南部の火祭り会場を中心に清掃活動
- ・ R6.11月 町内一斉ゴミ0活動
- ・ PRチラシの配布



■ アユ関係調査

- ・ 魚種調査、遡上状況調査

■ 河川内工事の際に関する配慮

- ・ 濁りに配慮した仮設の計画

■ 魚道の維持管理

- ・ 魚道上流部の瀬替え作業
- ・ 魚道修繕作業

■ 河川環境の美化活動

- ・ 早川町、身延町、南部町と協同による河川清掃及び除草作業

